

日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第11号 2014. 1. 1



埼玉県会親睦旅行（台湾・龍山寺）



埼玉県のマスコット コバトン

CONTENTS

会長あいさつ	2
県知事メッセージ	3
東京会会長あいさつ	4
役員コラム	5
事業報告	6～7
県会行事	8～13
事務局だより	14～17
会員コーナー	18～19
行事写真集	20
役員名簿等	21
会員名簿	22～23
編集後記	24



新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会 会長
小山 彰

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

日頃は埼玉県会の事業及び会務につきましてご協力ありがとうございます。御礼を申し上げます。

さて埼玉県会の会務活動ですが、私が会長の職をお預かりしてから二度目の正月を迎えることとなりました。この間「研修と親睦を両輪としながら業務と広報を充実させていく」という方針の下、会員や役員の皆様のご協力も得まして着々と進めております。とくにここ1、2年は若手の会員あるいは女性の会員に、多くの行事に参加していただき、また役員としても活躍していただいております。

まず会員の皆様への研修ですが、従来からの各種研修会のほかに学校法人委員会・公会計委員会・公益法人等委員会・社会福祉法人委員会と昨年立ち上げた研修委員会とがタイアップして、各委員会での勉強あるいは研究の成果などを研修のテーマとして会員の皆様に提供するなど、まさにこれらの委員会が研修の原動力としてフル回転しています。そしてこれらの委員会が会員の研修・勉強だけでなく、関係自治体・諸団体との交流、会員同志の交流に役立っていることは言うまでもありません。

また、会員相互の親睦ですが、昨年も従来にも増して多くの親睦行事が開催されました。とくに、昨年は第3回目の親睦旅行として、台湾旅行を挙行いたしました。上は80代後半から下は30代と、また初めて女性の参加者もあり、老若男女22名で楽しむとともに懇親を深めて参りました。この親睦旅行につきましては、今年も実施する予定です。

そして、会員業務の拡大と地域社会への貢献のために、昨年も自治体等様々な機関からいただい

た推薦依頼に対し、監査委員、包括外部監査人、外部監査責任者、各種委員会の委員、監事等を推薦して参りました。本年はさらに県内において組織された「彩の国中小企業支援ネットワーク」の一員として、県内の中小企業の経営改善や再生支援を通して、地域社会へ貢献できればと思っています。そのために経営革新等支援機関の認定を受けた会員の皆様に有用な情報を提供していきたいと考えております。

こうした会員へのサービスの提供や外部への広報活動のためには、県会CPAニュースやホームページのますますの充実が欠かせません。昨年広報委員会を立ち上げたのはこのためです。

このように埼玉県会は、会員の皆様そして多くの諸先輩のご協力を得て、従来にもまして会務活動が活発化してきたと思います。しかしながらより以上の活性化を図るには、この埼玉県会を本部と直結させること、即ち埼玉県会を地域化することが必要だと考えています。

昨年10月24日の臨時総会では、多くの会員の皆様にご出席をいただき、平成28年4月1日からの埼玉県会の地域化化についてご審議いただき、ご承認いただきました。あらためて御礼を申し上げます。

今後は東京会・役員会での地域会化の承認、本部・理事会における東京会の分割の承認を経て、設立準備委員会の設置、設立総会という流れを辿っていきます。まだ2年以上の期間はありますが、議論し検討すべき事項は山積みしています。会員の皆様のますますのご理解とお力添えが必要となって参ります。

本年も旧年にもまして埼玉県会の事業及び会務に対する、会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



自治体間競争で日本を元気に

埼玉県知事
上田 清司

新年おめでとうございます。皆様には、健やかに平成26年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、目まぐるしく変化する社会の要請に応えるべく日々尽力されている公認会計士の皆様に深く敬意を表します。

昨年は、円高の是正や株価の回復など、明るい兆しが見えた1年でした。今年はこうした流れを本格的な成長につなげなければなりません。

私は、変化の激しい今日、自治体が知恵を絞り、スピーディーに施策を展開することが日本の元氣を取り戻すカギと考え、全国をリードする取組を進めてきました。

例えば、中小企業向けに無担保・第三者保証人なしで融資が受けられる仕組みを作りました。最近10年間の県内における銀行の貸出金残高の増加額は全国第2位であり、企業活動の活発さを物語っています。

企業誘致でも、個々の企業のニーズに応じた迅速なサービスをワンストップで提供し、大きな成果を上げています。平成17年からの誘致実績は675件で、約2万2千人の新規雇用と約1兆円の投資が見込まれています。

過去10年間の企業本社の転出入も1,324社の転入超過で日本一です。

グローバル化に伴う国際競争が激化する中、地方が主体的に地域の産業や雇用を創出していく「通商産業政策の地方分権化」が日本の競争力を高めると考えています。

埼玉県では成長著しいアジアの活力を取り込むため、県内企業の海外進出をサポートする窓口を中国やベトナム、タイに設置しました。また、海外の政府や企業に、県内企業の製品や技術を売り

込んでいます。

交通網が発達し研究機関も集積している本県の優位性を生かし、先端産業の育成など新たな産業戦略にも取り組みます。

また、グローバル人材の育成のため、10億円規模の基金を創設し、3年間で延べ800人の奨学生を世界36か国に送り出しました。

さらに、若者の一人一人が自立し、社会・経済を担う人材として成長できるよう支援しています。

例えば、生活保護世帯の子供に学習支援を行い、高校進学率を97%と県全体の水準まで引き上げました。不登校対策にも力を入れ、公立中学校の不登校率を平成18年度の全国ワースト8位からベスト10位まで改善させました。全国に先駆け、発達障害を早期に発見して必要なケアを行う取組にも力を入れています。

一方、日本全体が抱える課題について成功モデルを示せるようプロジェクトを立ち上げています。

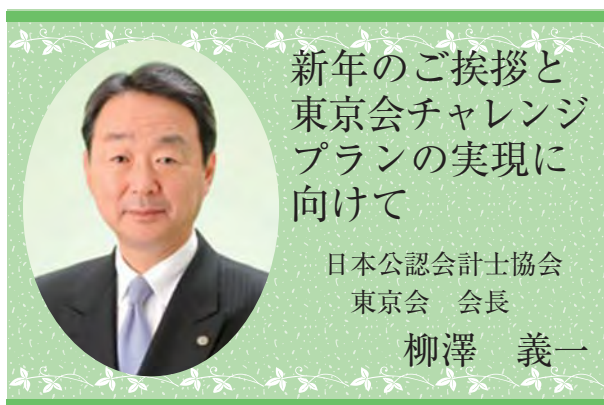
創エネと徹底した省エネでエネルギーの地産地消を図る「埼玉エコタウンプロジェクト」により、新たなエネルギー政策のモデルを示していきます。

また、国民医療費の増加を抑制するとともに誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を目指す「健康長寿埼玉プロジェクト」を進めています。

さらに、女性の力で社会・経済を活性化する「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進め、女性の活躍の場を広げていきます。

自治体が切磋琢磨する中から多種多様な成功モデルが生まれ、日本を元気にする政策が蓄積されます。

競い合うことで日本の元氣を盛り上げる。埼玉県はそのトップランナーとして日本の再生を先導していきます。



新年あけましておめでとうございます。埼玉県会の先生方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年6月に東京会会長に就任させていただき約半年が立ちましたが、ご承知の通り、昨年の10月から12月にかけては税理士法改正問題の対応で明け暮れ、他の東京会会務が滞るような状況でした。

ただ、すでにご案内かと思いますが、皆様のご協力のおかげをもちまして我々公認会計士が税理士業務を行うに際して新たな負荷がかかることはないということで合意され、税理士法改正法案の審議はこれからではありますが、一応の決着がつかしました。この件については、東京会をはじめいろいろな機会を通じて詳しく説明していきたいと思いますが、お世話になりました先生方には心より感謝申し上げます。

なお、一連の運動を行っていて感じたのは、歴史や海外比較を含めて公認会計士制度について我々自身が勉強不足であったこと、そして公認会計士制度を正しく伝える努力が怠っていたことについては真摯に反省しております。今回のことで得られた反省点なども今後の会務に生かしていきたいと思っております。

埼玉県会におかれましては先般の臨時総会において東京会から分離して新たに地域会になるという方向性を打ち出され検討を開始されております。多士済々、豊富な人材のもと、活気あふれる埼玉県会ですから、十分に地域会として活動していけるものと拝察いたしますが、地域会になること自体が目標ではなく、地域会にな

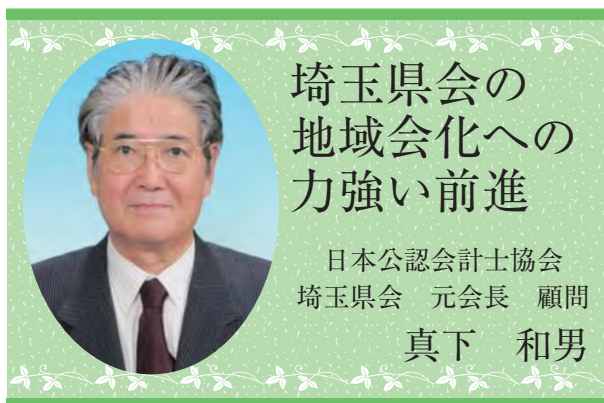
ることは、会員サービスの一層の向上、本部と直結することにより伝達される情報の充実、埼玉県会のプレゼンスの向上、地元自治体との関係強化等々多くのメリットが享受できる環境整備の一環かと思います。東京会としましても全面的にバックアップしていきたいと思っています。

すでに昨年、神奈川県会は地域会として独立され、活発に活動されているとともに東京会との協働した各種活動も順調に展開しております。埼玉県会が独立されたとしても東京会との緊密な連携は会員サービスのためには不可欠であり、そのこともしっかり検討しながら進めていく必要があります。

さて、私が昨年6月の会長就任時に東京会チャレンジプランと称して、私の会務の基本方針や具体的な施策をお示ししましたが、その中で例えば、三多摩会の部会設置、慶寿会開催、地区会支援のための事務局体制の強化、本部施策への検証・協力などすでに動き出しているものもありますが、住所地会員制度の本格導入など今年本格的に取り組むものなどがあります。また、今年は、9月4日に日本公認会計士協会の全国研究大会が14年ぶりに東京で開催されます。担当地域会としては責任重大です。高品質の先にあるチャレンジングスピリットをテーマに東京会らしい研究大会に仕上げていきたいと思っています。

地区会は公認会計士協会活動の原点と思っています。全力で進んでいきたいと思っていますので、今年一年、何卒よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。





去る10月24日に臨時総会が活発な討議の上、賛成114票、反対15票、白票2票で原案通り可決されました。

1. 歴代県会役員の課題

本問題は歴代埼玉県会会長を始めとし、役員が県庁を始め各種団体への表敬訪問や会議等の出席を通じて、忸怩たる思いをしてきたところで、埼玉県会の発展は会長の事務所が埼玉県会の事務所であるとのイメージの悪さと会員へのサービス・事務局の充実等が必須の要件であるとの強い願望でした。坂本隆信会長、熊木雄太郎会長時代に事務局の固定化が進展をみて、現在のソニックスティビル8階の立派な事務所の開設となったことは、大変喜ばしいことでした。

東京会の役員会では理解されてきたところですが、当事者はあくまで県会での取組みがどれだけ強いものであるかを見てきたのが実情であったでしょう。

埼玉県会の会員の協力により、とりあえず埼玉県会の事務所の設置と充実に意欲的に取り組むことが出来ました。それ以後の会員の研修会、総会等年を重ねるごとに参加人員の増加が見られたことは会員の周知のとおりです。

2. 事務所の固定化だけでは真の発展はない

会員の中には東京会の傘下にあっても現在の埼玉県の充実ぶりとあわせて見ると不都合を感じず満足しているので、これ以上の変化は必要ない、時期尚早であるとの意見もあります。これは、一面からみると埼玉県会の現執行部の会員への対応がよいとする評価です。小山彰会長を始めとする幹部の皆様の献身的な奉仕の成果でその御苦勞に感謝します。しかし、組織は継続的に維持され、進化されなければなりません。

3. 財政基盤の確立と事務管理、組織の充実

神奈川県会は2年ほどの準備の後平成25年4月の地域化の実施となりました。埼玉県会はその過程の資料の提供を受け、又、直接に意見を交換する機会を得ることが出来、貴重な積み重ねを経験

できました。その結果、会員の理解を得られるようにQ&Aを作成し、問題点のメリット・デメリット等について詳細な資料を作成しました。坂本隆信地域会化検討委員会委員長は6回の委員会を開催して、万全を期するようにつとめられました。

私はだいたい前になりますが、本部理事・常務理事として通算9年間従事し、当時から各地域会のあり方が検討されていることもあり、いつも関心をもってきました。租税調査委員会委員長の時もいくつかの地域会にお邪魔したこともあり、埼玉県会より少数の地域会の財政と事務局員の充実度を目の当たりにしてきたので、埼玉県会も地域会化されてもその点は心配ないと確信していました。

東京会の会費は会員年間42,000円、準会員7,200円でそのまま埼玉県会の会員数各602人、176人（平成25年11月30日現在）に乗じると総額は年間26,551,200円となります。その会費収入が確保され、それに見合う職員等も配置すれば、埼玉県会役員の負担も軽減され、会員へのサービスも向上することが可能となります。

4. 本部役員や各種委員会への積極的な参加

埼玉県会の会員も依頼があった時にはころよく参加し、時には手を挙げる積極性が必要と思われるし、私の経験からも参加、出席し、汗をかき、優秀な仲間と切磋琢磨する機会を数多く持つことが成長にも役立つことができたし、業務にも結果的にもプラスになったと感謝しています。時にはデメリットも多いと覚悟があるかも知れませんが、それを我慢して乗り切ってこそ未来が開けるものと思われます。

また、仲間や先輩もでしゃばらないで、暖かい目で支えることができればと思います。そのように心がけてきてもなかなか果たせませんでした。今80歳になって後悔していることでもあります。埼玉県会は日本でオリンピックが開催される7年後、どのように発展しているかと期待しています。

5. 本部役員・各種委員会の選出の基盤の拡充は協会の将来にプラス

本部の理事等の選出は大手監査法人のメンバーが過半数を占めるし、各委員会も同様な構成です。公認会計士は監査・経営・税務、学校法人、公益法人等その活躍の場は、最近特に拡大しているし、職域は何本かの柱があつてこそ安定するし、様々な社会の付託に答えることができます。

「社会貢献」が東京会会長の今年度の大きなターゲットです。選出された役員や委員は幅広い人材より構成されることが必要と思われます。埼玉県会の地域会化の成功は、若い会員や女性会員の理解と積極的な協力により達成できるでしょう。

平成24年度 事業報告

(H24. 4. 1 ~ H25. 3. 31)

1. 会員及び準会員数（平成25年 3月31日現在）

会 員	5 7 2 名
準 会 員	1 8 4 名
合 計	7 5 6 名
在 住 会 員	4 9 名

物 故 会 員	飯野 雪男 殿（平成24年 8月19日）
	田島 一郎 殿（平成24年11月24日）
	海老澤敏夫 殿（平成24年11月26日）

2. 事業報告（及び活動報告）

平成24年	4月12日(木)	所沢市長表敬訪問、巡回研修会所沢大会「CD-ROM 学校法人の監査に係る監査報告書の取扱いについて」、懇親会
	4月15日(日)	親睦ゴルフ大会（大森生ゴルフ場）
	4月16日(月)	埼玉県総務部学事課と面談
	4月20日(金)	埼玉県県民生活部消費生活課と面談
	4月23日(月)	埼玉県総務部へ推薦
	4月27日(金)	DVD研修会「監査事例研修会」、埼玉県総務部学事課と面談、熊谷市へ推薦
	5月7日(月)	さいたま地裁へ推薦
	5月9日(水)	推薦委員会、定例常任幹事会、DVD研修会「監査事例研修会」
	5月11日(金)	監事監査、埼玉県県民生活部へ2件推薦
	5月14日(月)	公益財団法人埼玉県産業文化センター監事の推薦、さいたま市へ推薦
	5月15日(火)	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
	5月23日(水)	DVD研修会「監査事例研修会」
	6月13日(水)	定例常任幹事会
	6月14日(木)	さいたま地裁、さいたま家裁越谷支部、埼玉県環境部へ推薦
	6月23日(土)	役員会、定期総会、懇親会 定例研修会「山一監査責任を巡る10年をふりかえって」
	6月26日(火)	埼玉県福祉部、さいたま地裁、埼玉県都市整備部へ推薦
	6月27日(水)	埼玉県議会傍聴、県知事面会
	7月4日(水)	協会本部定期総会（ライブ配信）、正副会長会議
	7月6日(金)	学校法人委員会第3回検討会、埼玉友好士業協議会定例会、懇親会、埼玉県消費生活課、埼玉県福祉監査課と面談
	7月13日(金)~15日(日)	北海道親睦旅行
	7月25日(水)	東京会地区会長会議
	7月26日(木)	地域会化検討委員会（第1回）
	7月28日(土)	東京会県会ブロック会議
	8月3日(金)	財団法人いきいき埼玉と面談
	8月7日(火)	財団法人埼玉県国際交流協会と面談
	8月9日(木)	定例常任幹事会
	8月9日(木)~10日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
	8月10日(金)	埼玉県信用保証協会と面談
	8月16日(木)	埼玉県教育局、埼玉県教育委員会へ推薦
	8月21日(火)	埼玉県消費生活支援センター、財団法人いきいき埼玉、財団法人埼玉県国際交流協会へ推薦
	8月23日(木)~24日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
	8月29日(水)	上田県知事表敬訪問
	9月6日(木)	学校法人委員会第4回検討会、定例常任幹事会
	9月12日(水)	埼玉県農林部へ推薦
	9月14日(金)	埼玉友好士業協議会第1回幹事会
	9月21日(金)	彩の国中小企業支援ネットワーク会議（第1回）
	9月24日(月)	さいたま市長表敬訪問
	9月30日(日)	親睦ゴルフ大会（日本カントリークラブ）
	10月1日(月)	越谷市長表敬訪問
	10月3日(水)	東京会役員会
	10月4日(木)	東京会県会ブロック会議、公認会計士フォーラム長野大会、懇親会
	10月10日(水)	埼玉友好士業協議会第2回幹事会
	10月11日(木)	定例常任幹事会

平成25年	10月13日(土)	巡回研修会川越大会「CD-ROM グループ法人税制について」、懇親会
	10月15日(月)	公益財団法人埼玉県公園緑地協会へ推薦
	10月18日(木)	埼玉県会新入会員歓迎の集い（活動報告会、懇親会）、埼玉県県民生活部広報課と面談
	10月19日(金)	地域会化検討委員会（第2回）、さいたま市総務局総務部コンプライアンス推進課と面談
	10月26日(金)	さいたま市へ推薦
	10月29日(月)	埼玉県県民生活部へ推薦
	11月4日(日)	日本スリーデーマーチ（東松山市）、懇親会
	11月8日(木)	学校法人委員会第5回検討会、定例常任幹事会
	11月10日(土)	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」、親睦ボーリング大会
	11月19日(月)~21日(水)	DVD研修会（秋季全国研修）
	12月3日(月)	埼玉県会CPAニュース第10号編集会議
	12月5日(水)~7日(金)	協会本部冬季全国研修会（ライブ配信）
	12月6日(木)	定例常任幹事会
	12月15日(土)	地域会化検討委員会（第3回）、役員会、忘年会 定例研修会「埼玉県の中小企業を取り巻く現状と課題」、「中小企業会計要領の歩き方」
	12月20日(木)	東京会役員会
	12月26日(水)	DVD研修会「監査事例研修会」
	12月27日(木)	DVD研修会「法人税事例研修会」
	1月1日(火)	埼玉県会CPAニュース第10号発行
	1月8日(火)	埼玉新聞社主催質問交換会
	1月10日(木)	正副会長会議、公認会計委員会勉強会「議員向け研修会テキストの解説」、懇親会（新年会）
	1月11日(金)	所沢市へ推薦
	1月17日(木)	協会本部新春全国研修会（ライブ配信）
	1月18日(金)	公益法人会計基準に関するアンケート（疑問点など）による面談（公益財団法人川越市勤労者福祉サービスセンター、一般社団法人埼玉節句人形振興協会）、学校法人委員会第6回検討会、包括外部監査勉強会「包括外部監査制度の概要」、懇親会
	1月21日(月)	彩の国中小企業支援ネットワーク会議（第2回）
	1月22日(火)	東京会役員会、合同新年会
	2月6日(水)	定例常任幹事会、埼玉県県土整備部用地課と面談
	2月6日(水)~8日(金)	協会本部春季全国研修会（ライブ配信）
	2月8日(金)	東京会常任幹事会
	2月12日(火)	地域会化検討委員会（第4回）、埼玉県県土整備部へ推薦、定例研修会「幼稚園法人の検査と財務状況について」、「社会福祉施設の指導監査実務とポイントについて」、「社会福祉法人の新会計基準のポイント」
	2月13日(水)	埼玉県福祉部、所沢市へ推薦
	2月18日(月)	埼玉県下水道事業管理者の推薦
	2月21日(木)	さいたま地裁へ推薦
	2月25日(月)	地域会化に関する東京会との打ち合わせ
	2月26日(火)	埼玉県福祉部へ推薦
	2月27日(水)	埼玉友好士業協議会第3回幹事会
	3月8日(金)	埼玉県企画財政部へ推薦
	3月25日(月)	財団法人埼玉県教職員互助会へ推薦
	3月26日(火)	東京会地区会長会議、役員会
	3月27日(水)~29日(金)	DVD研修会「倫理規則等における実務対応等について」、「公認会計士のための退職金給付会計『ざっくり』講座」
	3月28日(木)	定例常任幹事会、公認会計委員会勉強会「実践！地方公営企業」、懇親会

平成25年度 中間事業報告

(H25. 4. 1 ~ H25. 11. 30)

1. 会員及び準会員数（平成25年11月30日現在）

会 員	6 0 2 名
準 会 員	1 7 6 名
合 計	7 7 8 名
在 住 会 員	5 0 名

物 故 会 員	柳 洋 殿（平成25年 4 月10日） 肥沼栄三郎 殿（平成25年 6 月12日） 飯倉 哲成 殿（平成25年 9 月18日） 齋藤 史郎 殿（平成25年 9 月23日）
---------	--

2. 事業報告（及び活動報告）

4 月 4 日(木)	東京会「地区会の地域会化検討PT」
4 月 9 日(火)	さいたま市契約管理部契約課、埼玉県県民生活部消費生活課と面談 埼玉県消費生活協同組合検査員の推薦 埼玉県割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員の推薦 さいたま市入札監視・苦情検討委員会委員の推薦
4 月14日(日)	親睦ゴルフ大会（川越グリーンクロス）
4月18日(木)~19日(金)	DVD研修会「2013年 3 月期 企業決算作成実務研修会」
4 月24日(水)	さいたま地裁民事調停委員候補者の推薦
4月25日(木)~26日(金)	DVD研修会「監査事例研修会」
5 月 1 日(水)	監事監査
5 月 9 日(木)	第3回彩の国中小企業支援ネットワーク会議
5月10日(金)	定例常任幹事会 DVD研修会「平成24年度税務申告に当たっての留意事項」、「公認会計士のための退職給付会計『ざっくり』講座」 公益財団法人埼玉県健康づくり事業団監事の推薦
5月13日(月)	DVD研修会「平成24年度税務申告に当たっての留意事項」
6 月 5 日(水)	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議 深谷市外部評価委員の推薦
6 月 7 日(金)	監査委員候補者の推薦
6 月10日(月)	定例常任幹事会
6 月11日(火)	埼玉県平和資料館アドバイザーボード候補者の推薦
6 月13日(木)	東京会役員会
6 月14日(金)	関東財務局「業務説明会」
6 月22日(土)	地域会化検討委員会（第5回）、役員会、定期総会、懇親会 定例研修会「これからの公認会計士のあり方について」
6 月24日(月)	平成25年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員の推薦
7 月 3 日(水)	協会本部定期総会（ライブ配信）
7 月 5 日(金)	埼玉友好士業協議会定例会・懇親会 埼玉県消費生活課、埼玉県福祉監査課と面談
7 月11日(木)	定例常任幹事会
7 月12日(金)	学校法人委員会第7回検討会
7 月17日(水)	埼玉県西部地域振興ふれあい拠点施設及び川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設指定管理者候補者選定委員会委員の推薦
7月20日(土)~22日(月)	台湾親睦旅行
7 月24日(水)	独立行政法人水資源機構総合技術センターへ業務決算監査を行う公認会計士の紹介
7 月25日(木)	坂本関東財務局長他2名と面談、東京会地区会長会議
8 月 1 日(木)	経営革新等支援機関制度に係る研修会「中小企業金融円滑化法の期限到来に当たって講ずる総合的な対応について」、「経営革新等支援機関制度と今後の中小企業支援について」
8 月 5 日(月)	さいたま文学館及び桶川市民ホール指定管理者候補者選定委員会委員の推薦
8 月 8 日(木)	定例常任幹事会

8月8日(木)~9日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
8 月19日(月)	埼玉県信用保証協会と面談 経営革新等支援機関制度に係る研修会「経営改善計画策定支援事業について」、懇親会 埼玉県信用保証協会 業務統括部と面談
8月22日(木)~23日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
8 月23日(金)	関東財務局 総務課と面談 正副会長会議及び編集会議
8 月26日(月)	社会福祉法人新会計基準に係る会計実務研修への講師の派遣
9 月 2 日(月)	DVD研修会「相続税・贈与税の基礎と最新の税制改正について」
9 月10日(火)	研修委員会（第1回） 埼玉友好士業協議会第1回幹事会
9 月11日(水)	定例常任幹事会、東京会「地区会の地域会化検討PT」
9 月12日(木)	埼玉県指定管理者候補者選定委委員の推薦
9 月13日(金)	学校法人委員会（第1回）、第8回検討委員会
9 月18日(水)	東京会地区会長会議
9 月19日(木)	東京会役員会、公認会計士フォーラム新潟大会、懇親会 埼玉県公益法人認定等審議会委員候補者の推薦
9 月20日(金)	埼玉県包括外部監査人候補者の推薦
9 月24日(火)	社会福祉法人委員会（第1回）
9 月25日(水)	DVD研修会「相続税・贈与税の基礎と最新の税制改正について」
9 月26日(木)	埼玉県包括外部監査人候補者の推薦
10月 2 日(水)	関東財務局との意見交換会及び懇親会 埼玉県都市整備部住宅課と面談 埼玉県信用保証協会と面談
10月 3 日(木)	公益法人等委員会（第1回）
10月 9 日(水)	定例常任幹事会、金融庁による業務説明および意見交換会、埼玉友好士業協議会第2回幹事会
10月12日(土)	巡回研修会川越大会「元財務捜査官が語る経済犯罪の実態」、懇親会
10月17日(木)	埼玉県住宅供給公社監事候補者の推薦
10月23日(水)~25日(金)	協会本部秋季全国研修会（ライブ配信）
10月24日(木)	地域会化検討委員会（第6回） 役員会、臨時総会、懇親会
10月25日(金)	古川議員訪問
10月27日(日)	親睦ゴルフ会（おおむらさきゴルフ倶楽部）
10月28日(月)	彩の国中小企業ネットワーク会議
10月29日(火)	東京会「地区会の地域会化検討PT」
10月31日(木)	広報委員会（第1回）、地区会会長会議
11月 3 日(日)	日本スリーデーマーチ（東松山市）、懇親会
11月 9 日(土)	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」
11月11日(月)	学校法人委員会第9回検討委員会、定例常任幹事会
11月12日(火)	川越市と面談
11月18日(月)	社会福祉法人委員会（第2回）
11月19日(火)	熊谷市長訪問、巡回研修会熊谷大会 CD-ROM「不適切な会計処理が発覚した場合における監査人の対応に関する解説」、懇親会
11月28日(木)	東京会地区会長会議

■ 定期総会 ■

土屋文実男

平成24年度定期総会は昨年度6月22日（土）に埼玉県会研修室及び9Fの902会議室において午後1時から100名の出席者を得て開催されました。

同総会は西川副会長の司会で進められ、議事は小山会長が議長となって進行されました。

1. 審議事項

総務担当副会長の私が以下の①と②及び③と④の議案についてそれぞれ一括して説明を行い、⑤については幹事増員の件として説明を行いました。

⑥については、小山会長が本部・東京会の役員任期に統一する提案をしました。全ての事項について会員皆様の慎重な審議を経た上でご承認いただきました。

- ① 平成24年度会務報告
- ② 平成24年度収支計算書
- ③ 平成25年度事業計画
- ④ 平成25年度収支予算書
- ⑤ 埼玉県会規約改定
- ⑥ 役員退任・改選

このうち⑤については、会員数の増加に伴い幹事を30名から40名に変更するとともに、この改正規約は、東京会役員会の承認の日（平成25年7月25日）から適用することを決めました。

⑥については、小山会長が本部・東京会の役員任期に統一するため、現役員は一旦退任しその後再任をお願いし、再任後3年の任期にしたい旨の説明をした後、利害関係人となる小山会長から宮原顧問に議長を交代し議事が進行されました。その結果、小山会長に始まり、副会長及び常任幹事、幹事、監事の現執行部と増員された幹事の各役員案を上程し承認され、新たに役員は就任を承諾しました。

2. 討議事項

下記については、昨年度の定期総会で承認された地域会化検討委員会の坂本委員長より、説明が行われました。

「埼玉県会の地域会化について」

坂本委員長は、地域会化検討委員会における今までの

審議内容と経緯を説明し、平成25年10月24日に臨時総会を開催し地域会化の決議を行うことを地域会化検討委員会で決定し、本日の役員会に報告したことを説明しました。その後、浅井東京会副会長も加わり、会員からの質問にお答えし活発な討議が行われました。

全ての議題のご承認をいただき、ここに、小山会長を始めとする執行部が新たに始動することになりました。司会の西川副会長の開会の辞をもって無事平成24年度定期総会が終了しました。

引き続き、午後3時40分より定例研修会が行われました。「これからの公認会計士のあり方について」と題して本部副会長（現会長）である森公高氏を講師にお招きして熱心な講義をしていただきました。

さらに、17時過ぎより30分弱の時間で、柳澤東京会会長より東京会の会務報告が行われました。

その後、18時より懇親会が開催されました。懇親会は、深谷副会長の司会のもと終始和やかな雰囲気の中で進められ、小山会長の挨拶、来賓の方々のご紹介・ご挨拶、山本顧問の乾杯の音頭と続き、しばしの歓談の後、蛭川顧問（東京会前副会長）の中締めで終了しました。

懇親会に出席していただいたご来賓の方々には以下のとおりです。

森	公高	本部副会長（講師）
山崎	彰三	本部長
奥山	弘幸	本部常務理事
中村	元彦	本部理事
柳澤	義一	東京会会長
浅井	万富	東京会副会長
小西	彦衛	東京会前会長
蛭川	俊也	東京会前副会長
岡田	敏男	千葉県会会長
大嶋	良弘	千葉県会前会長
濱田	実	東京会事務局長
萩原	延高	東京会事務局課長補佐

■ 関東財務局との意見交換会 ■

佐久間仁志

平成24年10月2日（水）に、埼玉県会研修室にて関東財務局との懇談会が行われました。出席者は以下の通りです。

(関東財務局)	坂本	正喜	関東財務局長
	小原	昇	総務部長
	原田	要暢	理財部長
	橋本	徹	管財第1部長
	中野	均	総務部次長
	木村	隆	総務課長
	上田	稔市	総務課課長補佐
	(埼玉県会)	小山	彰 会長
		土屋文実男、西川	正純、平山 孔嗣、
		佐久間仁志	副会長
		荒井 伸夫	前会長
		池本 和子	事務局

最初に関東財務局から業務内容や最近の主要課題について説明を受け、埼玉県会からも事業内容、組織体制について説明を行い、和やかに意見交換が始まりました。議論の対象が埼玉県の経済状況、中小企業の景況に向かうと、中小企業金融円滑化法期限後における中小企業支援ネットワークの構築について協力体制を確認しました。意外だったのは、関東財務局は講師派遣も行っており、気軽に声をかけてくださいとPRされたことです。埼玉県会も地域社会に貢献していることのPRを行い、また質疑を重ね、1時間半でしたが充実した時間を過ごすことができました。懇談会終了後の懇親会ではさらに関東財務局との親睦を深めることができました。

■ 臨時総会 埼玉県会の地域会化について ■

臨時総会は昨年度10月24日（木）に大宮ソニックシティ小ホールにおいて午後6時から開催されました。

同臨時総会は平山副会長の司会で進められ、西川副会長の開会の辞、小山会長の挨拶の後、坂本地域会化検討委員会委員長が挨拶し、ご陪席いただいた方々の紹介と続き、最後に柳澤東京会会長の挨拶が行われました。議事は小山会長が議長となって進行されました。土屋総務担当副会長が、下記提案事項を説明しました。

第1号議案 埼玉県会の地域会化について

提案事項 平成28年4月1日付での埼玉県会の地域会化決議

提案理由として、その目的及び経緯を詳細に説明し、質疑応答が行われた後、投票用紙による無記名投票が行われました。議事録署名人である熊本会員及び島田会員の立会いの下、開票が行われました。投票結果は次のとおりです。

投票結果	
出席者数	135名
投票数	131票
賛成	114票
反対	15票
白票	2票
棄権	4票

左記のように、投票の結果、出席した会員の過半数をもって原案とおりに可決承認されました。佐久間副会長の開会の辞をもって、無事滞りなく臨時総会が閉会しました。

ご陪席いただいた方々は以下のとおりです。

柳澤 義一 東京会会長
 深代 勝美 東京会総務担当副会長
 兼山 嘉人 東京会県会ブロック担当副会長
 浅井 万富 東京会地域会化担当副会長
 佐藤 裕紀 東京会副会長
 峯岸 芳幸 東京会副会長
 前原 一彦 東京会副会長
 山田真之助 東京会副会長
 岡田 敏男 千葉県会会長
 大嶋 良弘 千葉県会地域会化PT座長
 磯 秀雄 東京会地区会長会議議長

—臨時総会特集号より一部再掲載しています。—

緊急インタビュー 「地域会化」について小山会長にズバリ問う！

10月24日の臨時総会に先立ち、地域会化に対していくつかの質問を小山会長にお尋ねしました。

I 地域会化の目的は？

広 報 員 長 ずばり地域会化の目的は何ですか？
 会 長 地域会化を行う目的の1つは、本部情報の会員への伝達と会員からの意見の集約を円滑化することによって、人材活用の場を広げ、それを日本公認会計士協会がより強固な自主規制機関として存立することにつなげていくことにあると思います。

広 報 員 長 地域会になると東京会が行っている業務を県会でやらなければならないのですよね。大変ではないですか？
 会 長 埼玉県会は県会事務所及び常勤と非常勤の2名の職員を有し、すでに自己完結的に活動できる状態にあります。また地元自治体や関係諸団体ともすでに東京会を介さず強固な関係を築きつつあります。そして研修会を独自に行い様々な行事を開催している現状からは、すでに地域会化すべき土壌は充分にできていると考えています。

広 報 員 長 東京会の会員でなくなることで会員に不利益が生じないでしょうか？
 会 長 機会あるごとに申し上げておりますように地域会化することによって従来から会員の皆様が受けているベネフィットを損なうことがあってはならないと思っております。この点

については、この特集号の最後に掲載させていただいております「地域会化Q & A」に記載の通りです。即ち福利厚生の方でも、研修の方でも、東京会の各種委員会への参加の方でも何も変わることはないのです。

広 報 員 長 地域化しても今までと変わらないのなら、地域会化しなくてもよいのではないかと思います？

会 長 変わらないとすれば地域会化することにどんな意味があるのか、という疑問もあるかと思います。発端は本部・東京会のガバナンス改革の一環にあるかもしれません。しかし、私を含め県会の役員は、これを機にますます埼玉県会が活性化され、また地元自治体との関係がより以上に強固なものとなり、地元で活動する公認会計士が地域社会へ貢献することに繋がっていくのだ、という考え方で臨もうと思っています。

II 地域会化する際にポイントとなる点は？

広 報 員 長 それでは、地域会化するにあたり会員の皆様が疑問に思っている点など具体的に質問させていただきます。

東京会の決算書に記載されている繰越剰余金のうち、埼玉県会への移譲金はどうなるの

会 長 でしょうか？

会 長 繰越剰余金については、地域会化のスタートにあたり、東京会からその繰越収支差額をもとに人数割合などで按分した金額を譲り受けられると考えています。

広 報 委員長 今まで積み立ててきた弔慰金資金はどうなるのでしょうか。ゼロから積み立てていくことになりませんか？

会 長 弔慰金資金については、地域会化後は県会独自で弔慰金制度を運営していくこととなりますが、そのためには東京会で今まで積み立ててきた「会員厚生自家保険引当資産」を埼玉県会の会員数に基づき男女別・年齢階層別人数に基づき算出した金額を移譲していただくことになると考えられます。

会 長 なお、繰越剰余金と弔慰金資金の具体的な金額については神奈川県会が地域会として独立したときに算定基礎が確立されていますが、最終的には東京会の「地区会の地域会化検討プロジェクトチーム」での今後の検討課題になります。

広 報 委員長 東京会の研修や行事の方が充実しているようですが、地域会化した場合東京会と同じような研修や行事を開催できますか？

会 長 会員は県会主催の事業と東京会主催各種事業とのいずれにも参加できるようにします。

会 長 東京会の公認会計士フォーラムや東京会が現在行っている各種イベントへの参加方法についても東京会事業への参加事業として協議していきたいと思っています。

会 長 なお、「東京会のグランドデザイン検討プロジェクトチーム」から本年1月に東京会の役員会に提示された報告書でも、分離独立した地域会については、「個々に連携の協議をする必要があるが、分離された地域会との関係は、それまで東京会地区会として享受したサービス内容を原則として落とさないよう東京会は配慮するもの」とし東京会としても全面的に支援していただけるものと思います。

広 報 委員長 現在の事務局の体制では地域会化後に上手く機能していくか疑問に思うのですが？

会 長 現状の職員2名に加え職員を1名増員するとともに、新たに局長を置くことを考えています。局長には会務に長けた方に着任していただく必要があります。これは埼玉県会が地域会になったことにより県会の執行部、役員に過大な負担がかからないようにするためです。

広 報 委員長 地域会会費については埼玉県会で徴収・管理していくようになるのでしょうか？

会 長 会費の徴収、慶弔関係、会員表彰などについては、効率的な運営をするために、本部の管理システム（基礎データ等）を協会本部に自分の負担をして借りますが、運営は当会が独

広 報 委員長 自に行うことになります。

広 報 委員長 地域会化した後は、全て埼玉県会で事業を行っていくことになるのでしょうか？それはとても大変なことだと思うのですが。

会 長 まず基本的な考え方として、地域会化したとしても、当面は現状の埼玉県会の組織、体制を基本ベースとして現状の活動を次第に拡大させていくことを考えています。

会 長 当面は東京会の力を借りながら徐々に東京会から巣立っていきたいと思います。

会 長 例えば、現在年1回発行されている埼玉県会CPAニュースも、その発行回数を増やす必要がありますが、費用や労力との兼ね合いを見ながら考えたいと思います。なお、東京会CPAニュースは従来通り県会員の皆様のお手元に届くようにしたいと思います。

会 長 また、地域会になった場合、役員の選任は選挙になります。従って選挙に係る費用が発生します。また定期総会関係につきましても議案書の作成などがある意味で簡略化されている現状に比べ、コスト面ばかりでなく手間も増えることになります。会員の皆様のご協力を是非お願いいたします。

広 報 委員長 委員会、福利厚生事業等東京会事業に関して総体的な方向性はどうなるのでしょうか？

会 長 先にも申し上げましたが会員の皆様のベネフィットを損なわないという形を基本としますので、独自で行う事業、共同で行う事業、参加型事業を東京会と協議して考えていきたいと思っています。

Ⅲ 地域会化のタイムスケジュールは？

広 報 委員長 地域会化に向けたタイムスケジュールはどうなっているのでしょうか？

会 長 平成28年4月1日からの地域会化を目指したいと思っています。

会 長 平成25年10月24日の臨時総会の決議を受けて、東京会役員会において決議の承認を頂き、当県会の地域会化について本部へ建議して理事会の承認を頂きます。その上で地域会に向けた予算建てや規約の改正等を行うという過程をたどっていくものと考えています。

会 長 埼玉県会としては東京会内に設置される設立準備委員会と協働して、地域会としての規約・細則の制定、設立総会の開催、地域会化した後での役員を選任するための選挙管理委員会の設立などを行っていく予定です。

会 長 なお、設立準備委員会は本部、東京会の担当役員、埼玉県会役員等が構成員となると思われます。

■ 巡回研修会川越大会 ■

猪鼻 正彦

10月12日（土）に川越研修を開催しました。今回の研修テーマは「元財務捜査官が語る経済犯罪の実態」で、講師を平成25年3月まで財務捜査官をされていた長内温子さんにお願いしました。事前のご案内を「めったに聞けない話」とか「川越研修だからできる企画」というキャッチコピー風にしたのが良かったのか、皆さんの関心のあるテーマだったのか、川越研修始まって以来の大盛況でした。長内温子さんの経験談は、私達が経験できない内容でしたし、また、我々が巻き込まれる可能性もある経済犯罪の話ということで皆さんの関心も高かったようです。警察の「捜査」は、我々が経験した「監査」とは捜査権の有無で違うものだとは漠然と感じてはいましたが、その激務には驚きました。十年以上務められた長内さんのバイタリティーには尊敬の念を覚えます。長内さんは現在、日本プレゼンテーション協会認定プロ講師の肩書をお持ちですので、事前の案内でプレゼンの話も特別付録としてあり、研修の最後の方で少しだけですがプレゼンについてのお話もされました。パワーポイントを駆使した研修は、そのままプレゼンテーションのお手本のようでした。研修のあとの懇親会も多数ご参加いただき盛り上がりましたが、長内さんの警察官時代の階級にちなんで、全員で「長内警部に敬礼」で締めました。



■ 経営革新等支援機関制度に係る研修会 ■

中澤 仁之

経営革新等支援機関制度に係る研修会を平成25年8月に2回実施しました。第1回は関東財務局理財部金融調整官平山静氏による「中小企業金融円滑化法の期限到来に当たって講ずる総合的な対策等について」及び関東経済産業局産業部企業課支援体制係長高井淳氏による「経営革新等支援機関制度と今後の中小企業支援について」でした。第2回は東京都中小企業再生支援協議会マネージャー・公認会計士相澤啓太氏による



「経営改善計画策定支援事業について～中小企業の再生・経営改善支援のために公認会計士として理解しておくこと～」でした。第1回は主に制度の説明についての研修、第2回は主に経営改善計画策定支援事業についての研修でした。研修会の参加者は各回とも70名程度でした。

本年も研修会を企画開催したいと考えておりますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。また、経営革新等支援機関の認定申請もお願いします。

■ 巡回研修会熊谷大会 ■

村田 克也

今年度は埼玉県北部で初めての巡回研修会熊谷大会を、11月19日（火）に実施致しました。DVDによる研修で、内容は「不適切な会計処理が発覚した場合における監査人の対応に関する解説」です。会場は、熊谷駅直結複合商業ビル内の熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」で行われ、初めての開催にもかかわらず、16名が出席してくださりました。懇親会開始ぎりぎりまで研修会が続くというハプニングがありましたが、何とか無事に終えることができました。

研修会の後の懇親会には、熊谷市長がご参加くださり、計16名の参加者のもと、盛大に行われました。そのまま2次会のカラオケにも、たくさんの会員が参加しました。自分を含めた若手会員にとって、地域で活躍する先生のお話を聞くことはとても貴重ですし、また、世代を超えた交流ができるのも埼玉県会の魅力の一つです。

再び埼玉北部地域で研修がある際には、たくさんのご参加をお待ちしています。



■ 埼玉県会親睦旅行 ■

深谷 豊

埼玉県会では、昨年の7月20日（土）から3日間、台湾に親睦旅行に行ってきました。30代から80代と幅広い老若男女の22名（うち3名女性）の会員の方々に参加していただきました。親睦旅行で海外を訪れるのは一昨年の韓国済州島に続いて2回目で、女性会員に参加いただいたのは今回が初めてでした。また、30代の若手の参加も初めてでこれまでに上に明るく活気に溢れていました。

それでは簡単に旅行の概要と感想をご報告させていただきます。

1日目、午前7時に羽田に集合、飛行機で3時間半、台北松山空港に到着しました。その足で中正記念堂、龍山寺と観光し、夕食は台湾で有名なディンタイフォンでした。同店は日本にも出店しているのですが、飲茶では大変有名で味の方は確かにおいしかったです。

夕食後は台北101（竹をイメージした緑色、高さ509.2メートルの超高層ビル（世界第2位）、地上101階でそれが名前の由来）での夜景鑑賞とTAIPEI EYEでの京劇鑑賞に分かれて台湾の夜を楽しみました。1級建築士でもある女性会員は建築物としての台北101を見るためにこの旅行に参加したそうです。果して見た甲斐があったかどうかその成果は聞いていませんが……。

2日目、ゴルフ組（参加者17名うち女性1名）は涂阿玉など有名なプロゴルファーを輩出した名門旧淡水ゴルフクラブにてプレーしました。さすが名門ゴルフ場だけあってキャディの男性がとてもゴルフに詳しく、優勝した酒井先生もそのアドバイスのおかげでスイ

ングの修正ができたとのことでした。いくら午前中とはいえ日本の夏より暑い中、80代後半（スコアではなく年齢です）のI先生も無事ラウンドされ皆さんほっとしました。それにしても同伴された2人の先生はさぞかしハラハラしたと思います。ご苦労様でした。一方観光組（参加者5名うち女性2名）は九份と金瓜石（きんかせき）を訪れました。その後は全員で故宮博物院にて中国の歴史を伝える美術品や文物を鑑賞しました。ここで最も有名な彫刻とされている「翠玉白菜（すいぎょくはくさい）」は、19世紀のヒスイの彫刻で、葉の上にバツタとキリギリスが彫刻されているのですが、本物は手のひらサイズで思いのほか小さいものでした。そして夕食は本格的な中華料理で大変おいしかったです。毎回のことですが、この旅行ももれなく酒豪が多く参加していました。紹興酒を大きめのグラスでビールのごとく飲んでいたため、空き瓶がテーブルの上にたくさん並んでいました。夕食後は自由行動で、マッサージや台北の夜市など、台湾最後の夜を満喫しました。

3日目、午前中は占い、買い物、観光、あるいは部屋でのんびり過ごす等各自で自由に楽しんだ後で、昼食をとり空港へ。疲れはしましたが和気あいあいのうちに、午後7時半過ぎ無事に羽田に到着しました。ああ楽しかった。

今年（国内旅行を予定）においてもそれ以上に楽しい旅行を企画したいと思いますので、7月中旬の親睦旅行を是非楽しみにしていただきたいと思います。



出発前、羽田空港に集合



蒋介石に敬意を表すために建立された「中正記念堂」



お線香の煙が絶えない
「龍山寺」



1日目は小籠包、点心で有名な台湾料理店
「鼎泰豊（ディンタイフォン）」で夕食



101階建ての「台北101」



TAIPEI EYEで京劇（チャイニーズオペラ）観賞



映画「千と千尋の神隠し」の
モデル説もある九份



金が採掘されていた金瓜石の
「黄金博物館」



2日目夕食は本格台湾料理



夜も賑やかな台北の街



台北市オフィスとして使われていたこともある
「台北當代藝術館」

総務

副会長
土屋文実男

新年明けましておめでとうございます。

埼玉県会の会員皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、私が小山会長のもとで副会長として総務を担当させて頂くようになって新たな1期目のスタートとなりました。何といたっても昨年10月24日に開催した臨時総会において、東京会の地区会から独立し、埼玉県会の地

推薦状況

推薦月	団体名	内容	人数等
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	7名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名 (登録)
	さいたま市産業創造財団	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名 (登録)
平成24年4月～25年3月			
4月	埼玉県総務部	埼玉県私立学校助成審議会委員候補者	1名
	熊谷市	熊谷スマートタウン整備事業における選定委員	1名
5月	さいたま地裁	調停委員候補者	1名
	埼玉県県民生活部	埼玉県消費生活協同組合検査員候補者	1名
		割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員	1名
	財団法人埼玉県産業文化センター	公益財団法人埼玉県産業文化センター監事	1名
	さいたま市	さいたま市テクニカルブランド企業評価委員	1名
6月	さいたま地方裁判所	株式の鑑定に係る評価人	1名
	さいたま家庭裁判所 越谷支部	鑑定人	1名
	埼玉県環境部	埼玉県環境部指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県福祉部	平成24年度埼玉県福祉施設等指導監査に係る公認会計士	1名
	さいたま地方裁判所	株式売買価格鑑定人	1名
	埼玉県都市整備部	平成24年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県教育局	埼玉県立武道館指定管理者候補者選定委員	1名
8月	埼玉県教育委員会	埼玉県立川の博物館指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県消費生活支援センター	埼玉県生活科学センター指定管理者候補者選定委員候補者	1名
	財団法人いきいき埼玉	外部監査人候補者	1名 2法人
	財団法人埼玉県国際交流協会	外部監査人候補者	1名 1法人
9月	埼玉県農林部	埼玉県指定管理者候補者選定委員	1名
10月	公益財団法人埼玉県公園緑地協会	外部監査人候補者	1名 1法人
	さいたま市	さいたま市不適正事務処理に関する第三者委員会委員	1名
	埼玉県県民生活部	埼玉県平和資料館指定管理者候補者選定委員候補者	1名
1月	所沢市	所沢市市民医療センター運営委員会委員	1名
2月	埼玉県県土整備部	埼玉県土地開発公社監事	1名
	埼玉県福祉部	埼玉県社会福祉法人認可及び介護老人保健施設審査委員会委員	1名
	所沢市	所沢市指定管理者選定委員会委員	3名
	埼玉県下水道局	埼玉県下水道局経営懇話会委員	1名
	さいたま地裁	株式の鑑定に係る評価人	1名
3月	埼玉県福祉部	平成25年度社会福祉指導監査に係る公認会計士	1名
	埼玉県企画財政部	埼玉高速鉄道株式会社経営懇話会の委員	1名
	一般財団法人埼玉県教職員互助会	一般財団法人埼玉県教職員互助会資産運用アドバイザー	1名
平成25年4月～			
4月	埼玉県県民生活部	埼玉県消費生活協同組合検査員候補者	1名
		割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員	1名
	さいたま市	さいたま市入札監視・苦情検討委員会委員	1名
5月	さいたま地方裁判所	民事調停委員候補者	1名
	公益財団法人埼玉県健康づくり事業団	公益財団法人埼玉県健康づくり事業団監事	1名
	深谷市	深谷市外部評価委員	1名
6月	さいたま市	監査委員候補者	1名
	埼玉県県民生活部	埼玉県平和資料館アドバイザーボード候補者	1名
	埼玉県県土整備部	平成25年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	1名
7月	埼玉県・川越市	埼玉県西部地域ふれあい拠点施設及び川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	独立行政法人水資源機構	公認会計士	1名
8月	埼玉県教育委員会	さいたま文学館及び桶川市民ホール指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	川越市	社会福祉法人新会計基準に係る会計実務研修講師	1名
	埼玉県信用保証協会	創業・再挑戦・再生審査会委員	1名
9月	埼玉県総務部	埼玉県公益法人認定等審議会の委員改選に伴う委員候補者	1名
	埼玉県	包括外部監査人	1名 2法人
10月	埼玉県都市整備部	埼玉県住宅供給公社監事候補者	1名

域会化を決議いただいたことが一番の出来事だと思います。再度、会員の皆様には、埼玉県会CPAニュース「埼玉県会臨時総会 特集号」（臨時増刊号2013.9.15）を熟読していただきたいと思います。

今年は、本部理事会の承認を得ていよいよ地域会化に向けてスタートを切る年です。設立準備委員会も組織される予定です。私事では、昨年6月で3期9年を務めた東京会の幹事を卒業させていただきましたので、埼玉県会の会務に全精力を注げる年となります。会員の皆様には、適時に地域会化についての情報をお知らせし意見をお聞きしたいと思います。そのためには、会員の皆様の積極的な参加が必要不可欠であります。本年も会員皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

業務

副会長
西川 正純

新年あけましておめでとうございます。県会会員の皆様には、日頃から会務にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

小山会長のもと、業務担当副会長として2年目に入りました。昨年も地方自治体の各種選定委員会への委員の推薦、埼玉県の外郭団体の監事の推薦、研修会への講師派遣の推薦等の多くの業務推薦を行ってまいりました。

本年も多くの会員の皆様に業務の推薦を行っていきたくと考えております。研修会や懇親会に参加いただくだけでなく、県会事務所へも遊びに来ていただければと思っております。

今後埼玉県会では、会員の業務推薦だけでなく、県会会員の業務拡大につながる活動を検討していきたいと考えております。

事務局

池本 和子
井原 紀子

会員の皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より埼玉県会にご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。

本年も、皆様へのサービスの充実を心がけてまいります。

埼玉県会の研修会、親睦行事等へのご参加をお待ちしております。

よろしくお願い申し上げます。

親睦

副会長
深谷

豊



新年明けましておめでとうございます。親睦関係では昨年において、ゴルフ同好会とカラオケ同好会を発足しました。参加していただいているメンバーは前者28名、後者15名で、老若男女を問わずたくさんの方に参加をいただいております。それぞれ盛況に活動を開始することができました。

一方従来からの活動としては、年3回の県会親睦ゴルフ、夏の親睦旅行（昨年は台湾、詳しくは別紙の親睦旅行欄をご参照ください。）、秋の東松山市での日本スリーデーマーチ（参加者28名）など一年を通じて充実した活動ができたのではないかと感じております。特に恒例の日本スリーデーマーチは、3日間での参加者は12万人を超え日本一はもちろん、オランダに次ぎ世界第2位の規模ということで国際色も豊かでした。

本年においても和気あいあいとした楽しい親睦活動を通じて、風通しのいい埼玉県会を目指して活動していきたいと思います。どうぞ皆様会員の積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外にも新たな同好会のリクエストがありましたら検討させていただきますので、どうぞご提案いただきたいと思います。それでは今年も楽しい一年を迎えましょう。

広報

副会長
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと御喜び申し上げます。今年度の広報のトピックスとしては、広報委員会が立ち上がり、やる気のある広報委員が活動を開始しました。従来、広報担当として行っていた年1回の埼玉県会CPAニュース、県会ホームページを中心とした会計士業務のPR活動は、広報委員会にシフトし、さらにパワフルな活動を行っていきます。広報委員会の今後の活躍に期待していただきたいと思います。地域化に備え、埼玉県会CPAニュースの発行回数を増やすことの検討・環境整備を行い、「地域社会に貢献する」埼玉県会の役割、重要性をより積極的にアピールしていきます。さらに、新聞企画記事等の活用を通じて、埼玉県民の皆様に対して埼玉県会並びに会計士業務をPRしていきます。地域会化を目指す埼玉県会の地域社会へのアピールにつきましては、昨年同様、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

研修

副会長
平山 孔嗣

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は定例研修会には数多くのご出席をいただき、増床なった研修室に加えて本部並みに別室への中継というようない悲鳴も聞かれました。会員の皆様のCPE取得への熱意には敬服いたします。また、研修内容の一層の充実を図り、各種委員会の主催勉強会の調整役を務めることを目的として常設の研修委員会を立ち上げました。委員長にはベテランの猪鼻先生をお願いし、応募頂いた情熱ある会員の先生方にメンバーとなって活動いただいております。県会独自研修は、本部研修にはない地域性を打ち出し、かつ、質におきましても超一流の講師陣をお招きして企画しております。今後ともより一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成25年度 実績及び予定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
4月18・19日	DVD研修会（企業決算作成実務研修会）	県会研修室	33名	集合研修DVD	3
4月25・26日	DVD研修会（監査事例研修会）	県会研修室	25名	集合研修DVD	3
5月10日	DVD研修会（税務申告に当たっての留意事項）	県会研修室	10名	集合研修DVD	※2
〃	DVD研修会（退職給付会計「ざっくり」講座）	県会研修室	9名	集合研修DVD	3
5月13日	DVD研修会（税務申告に当たっての留意事項）	県会研修室	9名	集合研修DVD	※2
6月22日	定期総会・研修会「これからの公認会計士のあり方について」	県会研修室 他	123名	森公高氏	5
7月3日	本部定期総会	県会研修室	41名	（ライブ配信）	4
8月1日	経営革新等支援機関制度に係る研修会	県会研修室	54名	関東財務局 関東経済産業局	3
8月8～9日	本部夏季全国研修会①	県会研修室	52名	（ライブ配信）	12
8月19日	経営革新等支援機関制度に係る研修会②	県会研修室	70名	相澤啓太氏	3
8月22～23日	本部夏季全国研修会②	県会研修室	57名	（ライブ配信）	12
9月2・25日	DVD研修会（相続税・贈与税の基礎と最近の税制改正について）	県会研修室	41名	集合研修DVD	4
10月12日	巡回研修会川越大会「元財務捜査官が語る経済犯罪の実態」	東上バールビル	43名	長内温子氏	3
10月23～25日	本部秋季全国研修会	県会研修室	76名	（ライブ配信）	18
10月24日	埼玉県会臨時総会	ソニックシティ小ホール	135名	—	2
11月19日	巡回研修会熊谷大会（不適切な会計処理が発覚した場合における監査人の対応に関する解説）	ハートピア	16名	集合研修DVD	2
12月7日	学校法人・公会計委員会合同研修会	県会研修室	44名	大谷はるみ氏 浜田陽介氏	3
12月11～13日	本部冬季全国研修会	県会研修室	36名	（ライブ配信）	18
12月14日	定例研修会 ①「社会保障と税の一体改革～消費税等を中心に～」 ②「わが国公認会計士監査制度の課題と展望」	県会研修室	85名	①小原昇氏 ②千代田邦夫氏	4
12月26日	DVD研修会（監査事例研修会10/7開催）	県会研修室		集合研修DVD	3
1月16日	公益法人・社会福祉法人委員会合同研修会	県会研修室		中村友理香氏 岩波一泰氏	4
1月17日	本部新春全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	6
2月5～7日	本部春季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
2月3日	定例研修会（学校法人・社会福祉法人会計）	県会研修室		中田ちず子氏他	4
3月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	2

※は同一内容につきCPE2でカウント

平成26年度以降 予 定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
4月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
5月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
6月21日	定期総会・研修会（テーマ未定）	県会研修室		未定	未定
7月9日	本部定期総会	県会研修室		（ライブ配信）	4
8月7～8日	本部夏季全国研修会①	県会研修室		（ライブ配信）	12
8月21～22日	本部夏季全国研修会②	県会研修室		（ライブ配信）	12
9月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
10月22～24日	本部秋季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
10月中旬	巡回研修会川越大会（テーマ未定）	未定		未定	未定
11月中旬	巡回研修会（地域・テーマ未定）	未定		未定	未定
12月10～12日	本部冬季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
12月中旬	定例研修会（テーマ未定）	県会研修室		未定	4

 公会計委員会 委員長 平山 孔嗣

公会計委員会は、現行の公会計、地方公営企業会計を基礎から学ぶとともに、新公営企業会計基準、複式簿記の公会計も研究し、監査委員や地方公共団体からのさまざまな負託にこたえられるよう準備する目的で運営されています。昨年は基本に返り、地方自治法における公会計の位置付から学びました。東京都など一部先進的な地方公共団体が先行して新しい公会計制度を導入し、わかりやすい情報



を発信しております。これらの事例を研究することにより、新しい公会計が地方自治体の実態を反映させ、その情報を活用して効率的な行政の運営が図れるかを考えてゆきたいと思います。いずれ、会計制度、システムの構築あるいは監査の場面で会員が即戦力として活躍し地域に貢献できるよう研鑽を重ねたいと考えています。本部、東京会、地方公共団体関係者などとも連携し、普及への施策なども研究してまいります。

[illegible]

学校法人委員会は、昨年新たに８名の会員が委員として参加し、現在16名の体制で委員会を行っています。委員会としましては、昨年同様に埼玉県学事課との関係を深め会員への情報提供を行っていくこと、また、会計の専門家として、学事課を通じての県内学校法人（特に幼稚園法人）に対する地域貢献を行っていくことを目指しております。

昨年の委員会活動では、学事課の「学校法人会計質疑応答集（平成25年改訂版）」の発行に協力してまいりました。

また、学校法人会計を入口から学んでいけるよう、「学校法人監査入門研修」といった入門の研修会を県会主催で12月7日に開催いたしました。

今後も、埼玉県会としてのカラーのある委員会活動を行っていきたいと考えております。



 公益法人等委員会 **委員長 工藤 道弘**

公益法人等委員会は昨年にメンバーを大幅増員し、パワーアップして再スタートいたしました。活動の基本方針は、会員への良質なサービスの提供及び地域貢献であります。

昨年11月30日に、新公益法人制度への移行期間が終了いたしました。これを踏まえて、これまでの活動の重点方針だった移行支援に区切りをつけ、今後は移行後の公益法人等を念頭に置いた活動を推進してまいります。その手始めとして、本年1月16日に会員向けの研修会を開催いたします。研修内容は、移行後の法人が平成20年基準で決算をする上での実務ポイントの解説です。

また、地域貢献を進めるうえでは、県との連携が非常に重要なポイントとなります。当委員会と県との良好な関係を構築しつつ、その流れで公益法人等への貢献活動ができるように、良い循環関係を築けるよう努めてまいります。



埼玉県のマスコット コバトン

委員長 大野 夏美

委員長 猪鼻 正彦

1. 年間の研修単位を確保する具体的な手段を再確認

2. 研修内容（テーマ）の現状と今後の方針

3. 他の委員会との連携

委員長 小川 千恵子

委員長 深谷 豊

2014 No.11 saitama cpa news



スキューバ・ダイビングを通して

村田 克也

私は年に数回スキューバ・ダイビングをしています。以前は本格的にやっていましたが、今は趣味程度に国内（特に沖縄周辺）を中心に潜っています。国内では伊豆や沖縄、海外ではグアム、サイパン、パラオ、タイ、マレーシア、シンガポールなど、色々と潜ってきました。その中でも沖縄とパラオはとても海がきれい（透明度良好）で、おすすめのスポットといえます。また、モルディブと呼ばれるダイバーにとって憧れの地がありますが、私はまだ行ったことがないので、いつか実現したいスポットです。ただしこのモルディブ、約1,200の島々から成り、海拔も非常に低いことから、温暖化の影響等で国土が消滅するかもしれないといわれたりしています。そのため、なるべく早い段階で潜りに行きたいと思っています。

話しは変わりまして、スキューバ・ダイビングが好きな理由は3つあります。

一つ目は、心に余裕が生まれてくるからです。スキューバ・ダイビングの世界では、海の中は、海水の音と呼吸音しか聞こえてきません。仕事を含めた普段の忙しい毎日から一歩踏みとどまり、まさに無心になる感覚を覚えます。また、呼吸とともに、自分が浮いたり沈んだりしますので（中性浮力といいます）、生きている自然の感覚も覚えます。こういった感覚が、心に余裕を持たせてくれます。そんなに忙しい毎日かといわれれば、決してそんなことはありませんが（笑）。

二つ目は、魚を観察できることです。魚は瞬きもせず、無表情だと思われる方が殆どだと思いますが、長年スキューバ・ダイビングをやっていると、魚にも表情があるように見えてきます（根拠はありませんが）。連続で同じスポットに潜ったりすると、同じ魚がいたりしますので、昨日は不機嫌だったけど今

日は随分ご機嫌なんだな～と感じたりします。嘘だと思われる方は、是非何回もスキューバ・ダイビングにチャレンジしてみてください（笑）。また、そこまでわからなくても、魚の行動・態度などはすぐにわかります。以前より随分殺気立ってきたな、攻撃的になってきたと感じたら、それは近くに卵がある証拠です。魚を観察することによって、こういった違いに気づいたり、想像を働かせることができるので、とても楽しいものです。

三つ目は、人種や世代を超えて、一緒に楽しむことができることです。海外でスキューバ・ダイビングをすると、初対面の外国の方と一緒に潜ったりしますので、趣味・スポーツとして共有することができます。また、下は10代から上は70代まで、幅広い年齢層の方と一緒に潜ったりもしますので、世代を超えて共有することができるのも魅力といえます。

最後になりましたが、ある日本で有名な解剖学者のY先生が「日本人は人間にしか興味を持たない人が多すぎる。」とおっしゃっていました。私もその通りだと感じています。人間以外の生物に触れることで、優しい気持ちにもなりますし、心がリフレッシュされます。そういった人間以外の生物に携われる趣味・スポーツとして、スキューバ・ダイビングは最高といえます。独立して1年半経ちましたが、仕事以外の時間も今から大切にしていきたいものです。



クリスマスイブにサンタのコスチュームで



ヴァイオリンの魅力

小笠原 薫子



ヴァイオリンは、16世紀の半ばに北イタリアで誕生した楽器です。

構造的には、木で作られた渦巻きの独創的な形をした箱に弦が4本ついているだけです。この弦を、緩やかにカーブした竿に蒙古馬の尻尾の毛を張った弓に松脂を塗り、その摩擦力によって音を出すのです。

こんな単純な構造なのに、ヴァイオリンは、弦の抑え方、弓の引き方、弦を右手や左手で弾いたり、弓を弦の上で弾ませたりと様々なテクニックを使い、息のようなすかな音から演奏会場いっぱいに鳴り響く大きな音まで出すことができます。スペインの作曲家でもあり華麗な名人芸で有名なヴァイオリニスト、サラサーテの代表作「チゴイネルワイゼン」や「カルメン幻想曲」には、そんな離れ技がたくさん織り込まれています。

また、ヴァイオリンは人間の最も深い感情をあますところなく表現できる楽器であり、人間の声に一番近い楽器です。流麗優美なメロディのメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を聴くと、哀愁を帯びた感傷で胸がいっぱいになります。

17～18世紀にかけて、ニコロ・アマティ、ヤコブ・シュタイナー、ストラディバリ、ガエルネリなど、著名なヴァイオリン製作者が続出しました。その中でも特に有名なのは、アントニオ・ストラディヴァリとバルトロメオ・ジュゼッペ・ガエルネリ・デル・ジェスです。

約400年も前に作られた楽器が今も名器であり続ける理由は明らかになっておらず、一説には塗装されているニスが特別なのではないかとも言われていました。しかし、近年は、ストラディバリが作られた当時の気候が、ヴァイオリンに適する木目が緻密に詰まった木を育てたからだとも言われ

ています。

ヴァイオリニスト達は、良い楽器、自分に合う楽器を手に入れるために世界中を捜し歩きます。また、有名なヴァイオリンの貸与を賞に掲げているコンクールもあり、若手のヴァイオリニスト達はその楽器で演奏したくてコンクールに挑戦します。優勝者は、その名器を使用して各地で演奏したりコンクールでの実績を重ね、さらに良い楽器を手に入れるために努力するのです。

何年か前にあるヴァイオリン・コンクールの本選会場に行きました。ファイナリストは全員素晴らしいテクニックの持ち主でしたが、演奏者の思いを歌っていない楽器がありました。逆に、演奏者の表情通り、ある時は高らかに、ある時は沈痛な響きをそのまま歌い上げていた楽器もありました。果たしてコンクールの結果は、楽器が演奏者の心を歌ってくれているかどうかと一致していました。

現在、我が家には、オールド・ヴァイオリンのヤコブ・シュタイナーとモダン・ヴァイオリンのジオバット・モラッシがあります。以前、兄と私が練習用に使用していたその他のいくつかのヴァイオリンは、既に父がお弟子さん達にあげてしまいました。

シュタイナーは、約400年前のドイツのヴァイオリンで、とても音色が柔らかく、優しく歌ってくれます。一方、モラッシはイタリアのクレモナの楽器で、製作者が高齢のため希少価値が高く、入手困難になっていますが、イタリア人のように陽気な甲高い音が出ますので、大ホールでもよく響きます。

今は、ヴァイオリンを弾くことはほとんどないのですが、いつかまた、ヴァイオリンと一緒に歌ってみたいと思います。

臨時総会・懇親会 2013.10.24



地域会化検討委員会
2012.12.15



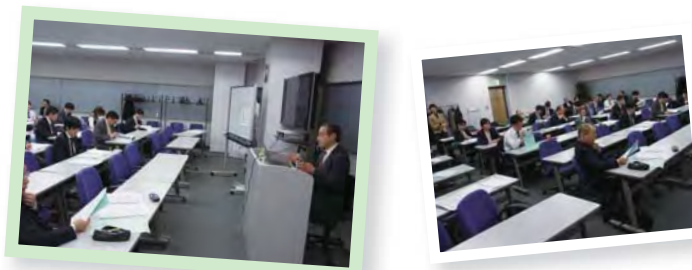
定期総会・懇親会 2013.6.22



忘年会 2012.12.15



包括外部監査勉強会 2013.1.18



関東財務局との意見交換会 2013.10.2



日本スリーデーマーチ
2013.11.3



親睦ゴルフ会
(おおむらさきゴルフ倶楽部)
2013.10.27



日本公認会計士協会埼玉県会 平成25年度役員名簿

役 員 名	氏 名						
会 長	小山 彰						
副 会 長	土屋文実男 (総務)		西川 正純 (業務)		平山 孔嗣 (研修)		
	佐久間仁志 (広報)		深谷 豊 (親睦)				
監 事	内田 俊二 櫻井 茂						
常任幹事	金井 千尋 (総務)		中澤 仁之 (総務)		大野 夏美 (業務)		
	工藤 道弘 (業務)		猪鼻 正彦 (研修)		宮城由美子 (研修)		
	飯野 浩一 (広報)		小川千恵子 (広報)		長谷川俊晴 (親睦)		
	高島 誉章 (親睦)						
幹 事	伊藤 英明	飯塚 正貴	遠藤 忠宏	岡庭 武利	小笠原薫子		
	長田 慶洋	長内 温子	川島弥生子	河合あゆみ	佐野 勝正		
	佐渡 一雄	清水 秀雄	島田紘一郎	金子由里子	寺山 昌文		
	長島 良亮	中島 茂喜	中村 甫尚	中村友理香	長岡 千晶		
	原口 博	筆野 力	松田 道春	村田 克也	村田 憲司		
	芳原 勝伸						
顧 問	鈴木 義夫	多田 広光	堀 一男	藤野 廣治	真下 和男		
	山本 清次	蛭川 俊也	吉島 一良	坂本 隆信	熊木雄太郎		
	宮原 敏夫	荒井 伸夫					
相 談 役	石山 豊 海野 亀男 稲山十四助						

埼玉県内に事務所を有す監査法人

有限責任あずさ監査法人北関東事務所
監 査 法 人 ク ラ リ テ イ
さくら萌和有限責任監査法人さいたま事務所
至 誠 監 査 法 人 熊 谷 事 務 所
新日本有限責任監査法人さいたま事務所
有限責任監査法人トーマツさいたま事務所



こんにちは!!
広報委員会です!!

後列左から金子由里子、佐久間仁志、
飯野浩一

前列左から芳原勝伸、小川千恵子

埼玉県会 CPA ニュースや埼玉県会ホームページなど埼玉県会の活動を多方面に
アピールしていきます。

会員の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

埼玉県会ホームページ <http://www.jicpa-saitama.jp>

会員・準会員ページへのアクセスは下記のID・パスワードをご入力ください。

ID (ユーザー名): jicpasaitama パスワード: ●●●● (ID・パスワードはすべて英数半角小文字です)

埼玉県会地域別会員名簿（平成25年11月30日現在）

地 区		正 会 員								準会員（４号準会員含む）			会 員 数					
													正	準	計			
さいたま市	浦和区	青山内田神本鈴木中島福蘭松平竜石堂潤一	裕之俊二(監)昇(顧)(幹)義夫茂喜健智一	石田大久保大川邊竹井長島宮城由美子(常)	惠美明茂光美良亮(幹)就介(常)	乾花健一(副)中村友理香(幹)保坂圭作宮原敏夫(顧)	紀彦淳健一(副)文実香(幹)主作(顧)	井上小淵櫻井寺山成田牧村田	雄介直子(監)昌文(幹)英彦哲郎英孝	上野賀川寛一郎幹夫昭徹吉彦豪士	阿久津聖龍雄増田奈津子間藤千尋	小林福士松縄啓孝卓雄豊	36	7	43			
	大宮区	浅井石川伊藤大原恩地木村栗原小宮山須賀田邊奈良原田洞口松村矢野渡辺	成朗雄英明(幹)誠顯太郎由武榮治史健佳和敦史卓継浩孝実子敬太	安達石倉入江小河原鎌田工藤剣持重田杉田千尾西野増田亜希子一謙二	岳夫英樹淳子原崇生健吾道弘(常)秀樹知香一真哲平忍良太希子一謙二	荒井石坂上野岡本鎌田久保壮一郎潤合田重松鈴木張西平布施松浦松本山沢	克浩貴洋洋樹竜彦一郎輝彦雄典哲芳竜人茂邦明	荒井石坂内田小倉河村熊谷穴戸関端調子真名武克広力(幹)稔貴文宏	伸夫(顧)洋二正美章真美孝聡子祐介夫京夫(幹)稔貴文宏	飯塚石山大野小澤木島倉谷見玉篠塚竹谷富樫信澤細野松田森田吉田	正貴(幹)明夏美(常)敬生紹史祐治卓也裕文一樹研輔康一高志道春(幹)豪士	大山奥富菊地佐藤高城吉川渡邊	紗季進介貴加志敬史敦史峻美	荻野佐亀山北角須永逸見米谷	知子義浩昌也彦織恵将大	76	13	89
	中央区	生川小林鈴木福家	直幸正和徹弘行	猪俣小宮高橋古屋	秀毅一浩昌男卓己	垣沼坂本富田村田	一郎隆信(顧)真史憲司(幹)	河合あゆみ(幹)雪華俊夫	甲田佐野原田	拓也芳孝裕子	新井風岡高橋	直毅晶雄英隆	新江坂口中村晋一郎	孝陽子	18	6	24	
	北区	一ノ瀬健太郎寺見	太郎三雄	大出鳥井	朱美喜一	小倉中島	尚久信	川島弥生子(幹)	崎谷寿	宇賀神貞夫幹雄啓史	西川林	英樹慧美	8	5	13			
	西区	網野深谷	誉豊(副)	内山義雄	浦野雄二	小林譲	関根史裕	横溝幸広	6	1	7							
	南区	相場押山高野信澤眞木	俊夫雅志寧績山洋和久	板橋後藤高野橋詰高橋	信夫俊二の正夫一	岩渕込田村長谷川孝至宮崎雅也	均道明孝也謙一	荻原佐分都築細川宮島	誠紀夫秀美達郎博和	奥角高野中泉前田森山	仁英之敏清澄謙一	伊東木下田中番家	知文靖浩建二薫	今内加奈子柴田中島松井	奈子英樹弘貴義隆	25	8	33
	桜区	井澤廣澤	眞信智	加藤暁光	金子由里子(幹)	関口俊雄	長岡保彦			6	0	6						
	見沼区	新江高橋山口憲一郎	明基貴一郎	大金深井	忠宏忠	奥原町野	主一晃一	加沢松原	義晴令枝	島田敏一郎(幹)宮内政人	安藤山田	正幸友紀	中嶋大貴	11	3	14		
	緑区	内山北原吉田	敏彦英治俊行	海野桐岡若井	亀男(相)弘幸義之	大石暮渡邊	勝友喜光	落合松永	操昭三	金森伸行昌弘	疇地田辺	恭央剛彦	酒井山口	勇佑和徳	13	4	17	
	岩槻区	相原甫二雄角田	甫二雄浩	秋葉かおり塩原		安齋塩原	亮三史子	岩波中村	一泰崇宏	尾崎渡邊	健一徹	柏木鈴木	敦喜瑞花	鈴木智子中川憲太郎	10	4	14	
	(さいたま市 計)												209	51	260			
	川口	青木金井小林櫻井佐山相馬中村畑中堀村松渡邊	忠幸克夫環秀憲直人雅宏明弘秀友哲也剛勝彦	猪股孝太郎融彦彰(会)武秀雄(幹)宏昭進一泰司善久恵二行光	宇津井高時直俊一将公剛守正和廣治(顧)富土男与世田温子	大村雅司幹和潤一郎彦美穂好治一男敦至史子雄大	岡田清祥人秀秋實照明智子直志幸司俊祐正巳	阿久井峻保清敦和宏雄己嵩悠	有座石田太田真一郎智美由郎祐介	52	13	65						
	蕨	浅野多田	晋也広光(顧)	浅野永井日由重徳	聖子雄太郎(顧)健治	遠藤英樹豆陽子	小川千恵子(常)清文広行	片野凌一喜代美新吾	浅見奈津子春田隆明	清水山北	康生文也	15	4	19				
	戸田	上田久保出健高橋	誠健一謙一	永川熊木永井井上佐藤田中若松	広明孝智行謙維	木村尚鈴木利根川宣保	黒澤瀬川羽田	誠一則之吉和	小松修二長吉樹生	大石竹中西村	良則伸明雅史	木村西谷信末	太一秀治涼一	17	6	23		
	上尾	井上小宮山田中三上	克典司更二幹夫															
	桶川	松田	正典	宮田英生											2	0	2	
北本	池田政治松村	政治栄	佐藤尚義	嶋崎直人	富山兼忠	松下高士								6	3	9		
鴻巣	大塚和恵		坂本修二	清水正	中澤隆									4	5	9		
伊奈町	町田賢朗													1	0	1		
中央地域 合計												315	86	401				
西部地域	川越	阿部猪鼻佐野田中西川	軍喜嘉行勝正伴一純(副)	安藤荻野鈴木富田原	隆允博司悟正明浩一	石山栗原関岡長岡松渕	豊(相)章和千晶(幹)敏朗	伊藤佐久間仁志(副)説田真二郎勝美山田太郎	猪鼻定行竹内西川	正彦(常)一治裕一孝博	小坂井原本谷	敦史智浩一輝	佐々木藤城	航匠	24	5	29	
	所沢	秋元江口白井田中町田	元創一郎輝武司貴世勝和宏	阿部大東幸司敏彦白井健二俊司秀敏	大亮幸司敏彦白井健二俊司秀敏	井上柏谷笹井関鶴藤森	正之道正和廣博之洋樹	岩崎力也順一雄(幹)誉章(常)正之幸雄	上本久朗津柴山中早坂横山	壽雄英夫一敦子昇一優子	小林堀川	一夫貴史	鈴木吉田	春陽正之	30	4	34	

※地域区分は、事務所所在地による

地 区		正 会 員							準会員（4号準会員含む）			会 員 数		
												正	準	計
西 部 地 域	和光	石塚 兼也 芝波田大樹	荻野 雅之 橋本三喜男	金沢 伸晃 山崎 彰三	酒見 昌秀 和田 正夫	櫻井 義郎	青木 香里	小形 剛弘	9	2	11			
	朝霞	稲山十四助(相) 新里 智弘	岡崎 隆造 根津 光弘	興松 敬史 羽山友紀子	高柳 尚規 船本 雅史	坪内 悠介	高倉 瞬 椿 大輔	田中小百合 宮崎恵理子	9	4	13			
	新座	春日 敏彦	平山 剛	柳澤 孝行			市川 義治 日野 烈	太刀川秀臣 望月 達也	3	4	7			
	志木	赤尾敬一郎 宮野尾幸裕	有賀 美典 山本 宣生	上原 由夫	川口 和明	関本 享	田代 雄也	矢野 達也	7	2	9			
	富士見	海上 和幸 芳原 勝伸(幹)	角野 崇雄	高波美弥子	田中 庸介	細田 康弘	大熊 正人 鈴木 秀和	小泉 佑介 福田 政彦	6	4	10			
	ふじみ野	有山 里美 新沼 水穂	小倉 邦路 平林 素子	北浦 貴士 水谷 新	齋藤 博	樋田 孝之			8	0	8			
	狭山	井上 徹二 鈴木 宮川	栗原 洋一 高柳 清	酒井 俊幸 寺田 芳雄	坂野 好邦 中村 英明	清水 善規 町田 敏子	川村 卓夫	齋藤 亨	11	2	13			
	入間	関谷伊和男	田中 清一	中村 透			濱田 雅	向山 裕輔	3	2	5			
	日高	猪股 大輔					越智 一英		1	1	2			
	鶴ヶ島	橋爪 和夫							1	0	1			
	坂戸	川村 義則 宮澤 正則	楠山 正典 柳澤 享	佐藤 宏章	西川 裕康	原口 純	加賀谷祐介 高橋 毅	齋藤 吉国	7	3	10			
	飯能	嶋田 昇	田中 里和	吉島 一良(顧)	吉島 力良		池田 五郎	坂本 浩輔	4	2	6			
	東松山	五十嵐正樹	鳥海 隆雄	堀 一男(顧)	真下 和男(顧)	山崎 剛			5	0	5			
	三芳町	菅野 卓							1	0	1			
	毛呂山町						新井 晶美		0	1	1			
	川島町	江藤 昭							1	0	1			
	吉見町	木村 毅							1	0	1			
	滑川町	佐藤 正恒							1	0	1			
	西部地域 合計									132	36	168		
東 部 地 域	越谷	阿部 実 大鷲 雅一 柴 義博 田部井悦子 長谷川俊晴(常) 松村 俊夫	飯塚 岩男 長田慶洋(幹) 後藤 雄介 為ヶ谷喜一郎 日向 健一 丸山 陽司	石井 敏明 金子 朋之 鈴木 篤志 中谷 真二 深井 哲平 水嶋 正樹	伊波 明人 清田 亮 高野 悦雄 中村 甫尚(幹) 藤原 拓也 渡井 富志雄	大沢日出夫 熊谷盛樹 田久保武志 根本 裕久 堀 友嗣	今市 哲則 坂上 志歩 安田 英則	久世 将吾 乗松 幹朗 脇田 徹	29	6	35			
	春日部	浅子 正明 木村 覚 富田 啓一 山本 清次(顧)	飯田 輝夫 小池久美子 中村 仁 吉田 剛	磯山 昭一 神足 勝彦 西島 大充 渡邊 宣昭	射手 宏和 田中 彰治 中 哲也 廣瀬 喜夫	遠藤 忠宏(幹) 寺師 薫子 廣瀬 令子	梅田 純一 新澤 寛樹 中村 幸治	酒井 雄一 中川 茂幸	19	5	24			
	草加	秋濱 政志 猪股 宏之 長内(幹) 富岡 桂子 森角 洋介	浅野 典久 猪股 史紀 河合 寛 中島 英男	伊藤佳菜子 遠藤 修司 関根 敬子 福井 俊之	伊藤 忠士 小笠原薫子 仙波 春雄 堀野 曉	猪股 世紀 奥平 隆 谷 篤志 三根 健一	糸田川 周 南 伸一	内倉 滋 山本 創	21	4	25			
	八潮	平山 誠					久米 忠 三上 真人	小早川侑子	1	3	4			
	三郷	今西 崇雄 富樫 信子	岡庭 武利(幹) 橋本 尚樹	岡本 琢磨 畠山まり子	釧山 清 山下 勝矢	高山 康明	五十嵐 力	小林 拓平	9	2	11			
	吉川	小山 修平	野口 千春				豊田由美子		2	1	3			
	蓮田	飯野 浩一(常)	小川 進	垣花 豊人	森山 武芳		増田 祥之		4	1	5			
	久喜	永田 勲	山中 裕之				神谷 直樹		2	1	3			
	加須	伊藤晋太郎	高野 勝良	原 稔	吉田 俊彦				4	0	4			
	行田	會田 幸雄							1	0	1			
	羽生	土橋 宏章	松本 猛				岡田 健吾		2	1	3			
	幸手	菅谷 君一							1	0	1			
	白岡	岡山 和愛 藤田 達郎	岸川康太郎	坂巻 仁志	椎野 晃雄	長澤 正浩	秋山 浩一		6	1	7			
	宮代町	板橋 正志					亀岡 昌樹	高木 雅和	1	2	3			
	松伏町	步行田大樹					浦沢 晃		1	1	2			
	東部地域 合計									103	28	131		
北 部 地 域	熊谷	石井 喜浩 木下和紀 能見 孟俊 本塚雄一郎	大谷 宏一 木本 英男 萩原 篤	荻野 敏夫 鯨井 敏彦 蛭川 俊也(顧)	八郎 久敬 久敬 俊也(顧)	金井 千尋(常) 島田 洋孝 細川 英海	川邊慶之助 田代 充雄 村田 克也(幹)	大澤 祐丞 柴崎 亮 中澤 泰彦 森田 昌幸	塩田 哲也 田代 嘉昭 松本 洋平	16	7	23		
	深谷	黒須 克仁 中澤 仁之(常)	小林喜一郎 原口 博(幹)	須川 智之	武田 哲	塚原 昭二	松崎 宏友		7	1	8			
	寄居町	勝又 大博							1	0	1			
	本庄						小森谷大二郎		0	1	1			
北部地域 合計									24	10	34			
埼 玉 地 域	秩父	小泉 眞人	肥沼 秀司						2	0	2			
	秩父地域 合計									2	0	2		
	埼玉県会合計（公 開）									576	159	735		
	〃（非公開）									26	17	43		
埼玉県会総合計									602	176	778			
在住地区会員	青木 茂男 尾崎 兼行 酒井 宏暢 鈴木 昌治 野口 和弘 前川 修満	浅古 櫻井 俊彦 均 達夫 一彦 正一郎	石田 猛士 神山 敏夫 佐々木直彦 臺 祐二 浜田 陽介 森 弘毅	磯部 河合 河合 佐瀬 塚本 平野 森本	正昭 明弘 永一 和成 純一 洋平	内田 宗夫 川口 俊道 佐瀬 徹 筑紫 勝美 深代 直樹	江口 久保 久保 佐竹 中嶋 深代	俊治 直生 正幸 教品 伸明	太田 啓之 河野 幸久 新保 博之 中塚 拓也 保 卓三 船山 卓三	緒方 小島 小島 神保 中野 中野 寶野 寶野	雅人 昇 正人 正人 竹昭 竹昭 裕昭 裕昭	奥山 弘幸 權田 俊枝 鈴木 泰司 中村 元彦 本間 利雄 (合計50名)		

* 凡例 = (会) : 会長 (副) : 副会長 (常) : 常任幹事 (幹) : 幹事 (監) : 監事 (顧) : 顧問 (相) : 相談役

編集後記

あけましておめでとうございます。本号には昨年10月24日（木）に開催されました埼玉県会臨時総会の特集記事が掲載されています。地区会から地域会になった場合に、会員の皆様にどのような影響があるのかについても、再度掲載させていただきました。皆様の疑問点を解消する一助になりましたら幸いです。また、昨年度新設された各委員会についても紹介させていただきました。是非、ご一読いただければと思います。

（小川千恵子）

本年度から、広報委員会が新設されました。

広報委員の仕事は、①埼玉県会の催し物に参加し写真を撮ったり、②埼玉県会の広報誌の記事を書いたり、③広報誌の記事の執筆依頼をしたり、④編集会議に参加して広報誌の作成をすることです。編集会議のあとは、懇親会を行うこともあります。

今後、埼玉県会の広報活動を強化する予定です。そのため、新規に広報委員の募集をさせていただきます。広報委員にご興味のある方は、埼玉県会事務局までご連絡をお願いいたします。栄誉ある広報委員（笑）になるには厳正なる審査（？）にパスしなければなりません、どうぞよろしくお願いいたします。

（芳原 勝伸）

昨年、特に元気づけられたのは昨年10月に大宮ソニックシティで行われた山下達郎さんのコンサートでした。60歳で還暦コンサートと銘打って全国で行われたツアーの一環で、約3時間半ギターを引きながら歌いっぱなし、声も昔より低音が出てさらに良くなっているように感じました。まだ5年位やりますよー！と元気一杯で、コンサート終了後も最後まで舞台の袖で深々とお辞儀をしていました。プロデューサー・アーティストをこなして、経営もされているだろうことを思い、プロフェッショナルとして大いに刺激を受けました。

最後になりますが、本年も皆様にとってより良い1年となることをご祈念申し上げます。

（飯野 浩一）

締切に追われ、編集後記を海外にて執筆しています。新しい文化に触れるとともに、日本の良さを再認識できることは海外旅行の意義深いところですよ。昨年は私にとって、新しいことへの挑戦の一年でした。仕事に関してもそうですが、広報委員会の一員として公認会計士協会活動など様々な経験を致しました。この新たな体験により公認会計士になって良かったと再認識しています。埼玉県会の英知溢れる諸先輩方に畏敬の念を抱くとともに、私も斯くありたいと思います。皆様にも埼玉県会の魅力をお伝えできるよう広報委員として邁進して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

（金子由里子）

寝台特急が2015年度末までに全面廃止される方向で検討されているという。鉄道は、航空機をライバルとして、より早くより便利な進化を遂げてきた。2014年度末までに北陸新幹線が開業して東京金沢間を2時間30分で走行し、2027年には超電導リニアによる中央新幹線が東京名古屋間を最速40分で結ぶという。より早い「移動手段」へのシフトの結果、寝台特急は時代遅れとなったのだろう。しかし、寝台特急は、単なる移動手段とは異なる「乗り物」だ。鉄道には「時間をたっぷり使う」という贅沢な選択も「あり」なのだ。学生時代にブルートレインで曙を迎えたすがすがしさを今でも忘れられない。

（佐久間仁志）



埼玉県のマスコット コバトン

日本公認会計士協会 埼玉県会

〒330-8669

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

ソニックシティビル8F

TEL: 048-644-9050 FAX: 048-644-9054

E-Mail: kenkai@jicpa-saitama.jp

URL: http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース

発行人: 埼玉県会会長 小山 彰

編集人: 副会長(広報担当) 佐久間仁志

構成: 常任幹事(広報担当) 飯野浩一、小川千恵子

印刷所: 株式会社 正文社

写真提供: 佐久間仁志